

2022年1月14日

内閣総理大臣  
岸田 文雄殿

大阪よどがわ市民生活協同組合  
理事会

## 核兵器禁止条約への署名・批准を求め、まずは

### 第1回核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を要請します

私たち大阪よどがわ市民生活協同組合は、1977年より「よりよき暮らしと平和のために」（創立宣言）事業と運動をすすめる消費者の協同の組織です。平和を願い、核兵器禁止条約を願う多くの人たちとも連帯しながら、核不拡散条約（NPT）再検討会議への参加、「ヒバクシャ国際署名」の推進など、核兵器廃絶へ向けた取り組みをつづけています。

核兵器禁止条約は、核兵器の使用や保有を違法化するはじめての国際条約です。2021年12月現在、条約に参加する意思を示す署名は86か国と地域にのぼり、59か国と地域が批准手続きを終えています。

第1回核兵器禁止条約締約国会議は、2022年3月にオーストリアの首都ウィーンで開催されます。核兵器禁止条約に参加していない国でも、オブザーバーとして参加することをスイス、スウェーデン、フィンランドに加えてNATO＝北大西洋条約機構の加盟国であるノルウェーとドイツも参加を表明するなど、世界各国にひろがっています。

日本政府は、唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶に向けて積極的な役割を果たすべき立場にあり、国際社会からも求められています。核兵器の全面禁止と核兵器廃絶の先頭にたち、その役割を発揮すべく、日本政府に対して、核兵器禁止条約に署名・批准することを求め、まずは第1回核兵器禁止条約締約国会議へオブザーバー参加することを要請します。

以上